

## スプレーダスト ( Spray dust )

### 1 . 現象

スプレー塗装で、塗面がざらざらになる現象。特に、無機ジंकリッチペイントや速乾タイプの塗料に生じ易い。

### 2 . 原因

#### a . シンナーによる場合

溶解力の悪いシンナー、蒸発速度の速いシンナーを使用するとダストを生じ易い。

#### b . 気温が高い場合

塗装時の気温が高い場合は塗料中の溶剤が蒸発し易いため、スプレーの場合、塗料が被塗面に達するまでに乾燥状態となりダストとなる。

#### c . 被塗物との距離が遠い場合

スプレーガンと被塗物との距離が遠い場合も b と同様に乾燥状態となりダストとなる。

#### d . すでに塗装した面にダストがかかる場合

被塗物の設置場所が近い場合などはスプレーダストが飛散し、隣の被塗物がダスト状態となる。

#### e . エアレス塗装圧力が高すぎる場合

スプレー圧力が高すぎると飛散が多くなりスプレーダストとなり易い。

### 3 . 調査方法

a . 塗装方法がスプレー塗装であるかを確認し、被塗面を雑巾などで拭き取る。ダストの場合は比較的容易に除去できる場合が多い。

### 4 . 対策

a . 使用する塗料の専用シンナーを用いる。

b . 夏季など気温が高い場合は専用の夏用シンナーを使用する。

c . 被塗物とスプレーガンの塗装距離は適正距離を保って塗装する。

d . 被塗物間の距離をとり、風向き、塗装方向を考慮し塗装する。

e . エアレス塗装圧力を適正圧力にする。

f . シート養生などを考慮する。